

「環境ライフスタイル」に関する研究 第1報 - 「環境家計簿」の分析 -
○山本早里 佐藤祥子 大石美佳 杉浦有里 川村道乃 川口和英 森千恵
(鎌倉女子大学)

[目的] 日常生活のレベルで地球環境に対して関心を持ち配慮する生活様式を「環境ライフスタイル」と呼ぶことにし、第1報、第2報では、環境ライフスタイル研究の一環として、環境ライフスタイルを実現させるための道具としての「環境家計簿」に着目し、「環境ライフスタイル」を実現する上で「環境家計簿」がどのような役割を持ち得るかを検討した。第1報では、各自治体・団体が作成した「環境家計簿」の特徴を整理し、分析した。

[方法] 既存の「環境家計簿」を収集・整理し、各「環境家計簿」の特徴を評価した。収集した家計簿は、各自治体・団体が作成した29の「環境家計簿」である。評価項目は、「環境家計簿」の目標、内容、つけやすさに関する項目を中心に筆者らが選定した。各環境家計簿をこれらの項目に関して大学の教員5名が評価した。

[結果]

- ・「環境家計簿」は、現在の行動が地球環境を考慮しているか確認できる「行動のチェック」に主眼をおいたもの、環境学習に主眼をおいたものなど、各々の特色を持っていることを示した。
- ・「環境家計簿」で扱っている内容は、多岐にわたっており、必ずしもCO2排出量の算出に限られているわけではないことが明らかになった。
- ・「環境家計簿」をつけやすくすると考えられる項目のうち、環境家計簿の前書きに工夫を凝らした「とりかかりやすさ」に配慮が見られる「環境家計簿」が多いことがわかった。「環境家計簿」を記入する上での「楽しさ」は、主に「イラストの量」と関係が深いことを示した。